

AMP/PAM (アンパン) 代表
アーバンデザインセンター大宮 [UDCO]

伊藤 孝仁 氏 講演会

「大宮の例から学ぶ公共空間の使い方」

郡山市は人・モノ・情報の交流を支える中核都市として発展を続けてきましたが、社会構造やライフスタイルが大きく変容する中で、都市機能が集積する郡山駅を中心とした中心市街地は多様な課題も抱えています。

それは課題であると同時に、新しい暮らしの環境をつくる契機でもあります。

今回は、商業や観光などの単一的な視点ではなく、複合的な「環境」として地方都市の駅前エリアを考えることの可能性や、公民協奏による地域再生についての講演会を開催いたします。

日 時：令和5年7月29日(土) 10時30分～12時(10時開場)

場 所：市民交流プラザ和室(ビックアイ7階)

参加料：無料 ※当日の駐車料金については各自ご負担願います。

参加申込：右のQRコードよりお申込みください。

申込期日：令和5年7月28日(金)

定 員：先着35名

<講演に関する連絡先>

一般社団法人ブルーバード(担当 渡部) 電話 024-954-6522



【講師プロフィール】

建築家 1987年東京生まれ。

乾久美子建築設計事務所を経て2014年から2020年までトミトアーキテクチャ共同主宰。2020年よりAMP/PAM(アンパン)主宰。

大宮を拠点に北関東・南東北エリアでの地域拠点づくりに関わり、福島では「gnome」や「ent」を設計。「社会的資源の営繕」をテーマに、道具から都市まで、ストリートからランドスケープまで、領域を横断しながら建築設計に取り組んでいる。

アーバンデザインセンター大宮[UDCO] デザインリサーチャー。東京理科大学・前橋工科大学・明治大学 非常勤講師。

